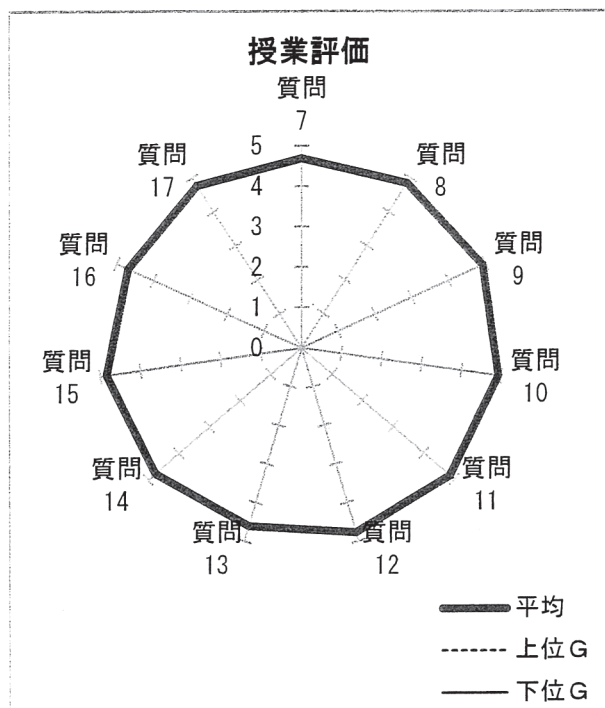


科目コード 102 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 新井 恭子 Junior Seminar I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.6	4.6	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

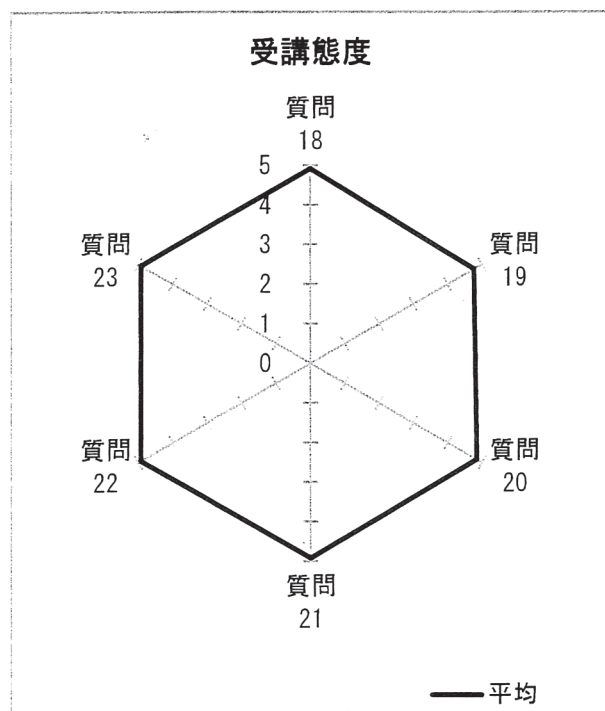
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.8
質問20	4.8
質問21	4.9
質問22	4.9
質問23	4.9
平均	4.9

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	新井恭子	Junior Seminar I	13

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

本年、本学に赴任して、アンケートも一部にしか実施しなかったため、結果があまり信頼できないかもしれない。来年度は、新規の授業や教養科目の英語でも授業でアンケートを実施したい。

すべての授業において、本学の学生のレベルがわからなかったのも、テキストが適切でなかった授業が多かった。

II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 :

英語 I, II, III, IV

ビジネス英語入門、English for Hospitality and Tourism

Junior Seminar, Senior Seminar, 卒業論文・卒業制作指導

教養セミナー、適性を見極めキャリアを設計するために

言語の意味と構造

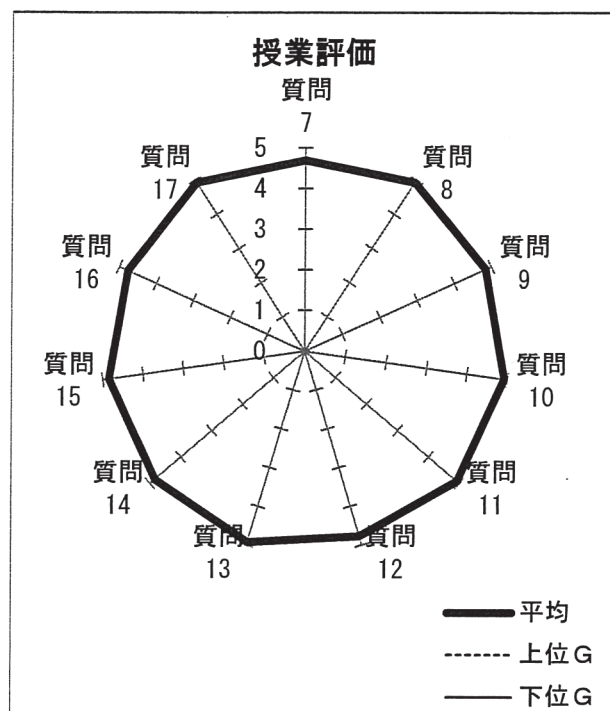
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

来年度は、英語に関しては、レベルに合ったテキストを吟味し、モチベーションを高め、アクティブラーニング形式で積極的に英語を学べるような授業を行いたいと思う。

キャリア教育関係の授業では、自主性、積極性を高め、自己分析をもとにキャリア設計ができるように支援する授業を行いたいと思う。

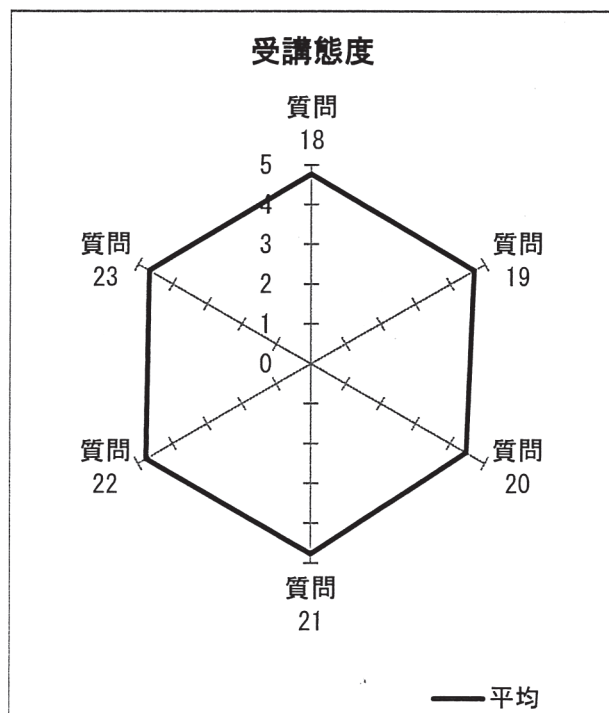
科目コード 105 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 上野 葉子 英米文学演習 I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.7	4.7	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.7
質問20	4.5
質問21	4.8
質問22	4.8
質問23	4.7
平均	4.7

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	上野葉子	英米文学演習 I	13

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

いずれの質問項目の平均値が 4.9 であり、全体的に良い結果であったと考える。

説明のわかりやすさ、質問機会の確保と質問への適切な対応などが 4.9 であり、ほとんどの受講生が「そう思う」と肯定的に答えている。学生にも親しみのある作品を教材に選んだため、学生の反応が良く、学生の方から質問が出ることも多かったのも、このような結果が出たのではないと思う。教材・機器・板書などの効果的な使用についても 4.9 の値である。毎回 CD を聞いて聞き取りの問題を解いてもらったり、学生が内容を理解しやすいように映像化された作品も見てもらったりしたので、このような回答となったのではないかと考える。

質問 7 の授業の目標説明とシラバスに沿った実施に関しては、他の数値よりも低い 4.7 であった。授業の目標については最初の回に説明したが、学生の理解度に合わせてシラバスに書いた進捗よりも遅くなってしまったので、このような回答になったのかもしれない。

II. 2018 年度に向けての取り組み

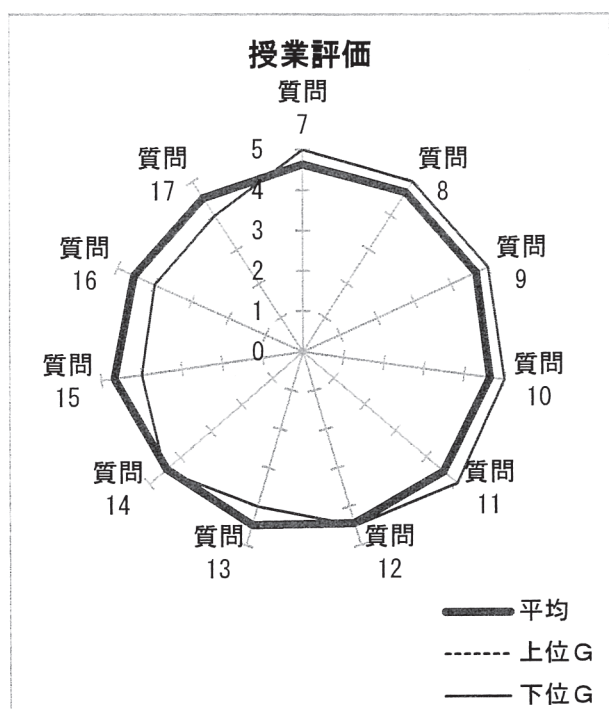
2018 年度担当予定科目名： 英米文学演習 I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

2018 年度もさらに良い結果が出るように努力したい。最近は文学作品に興味をもつ学生が少ないので、親しみを感じられるような作品を選びたい。また、学生の理解度の確認にも十分留意したい。

科目コード 111 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 香川 実成 大学基礎英語セミナー III



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.6	4.6	5.0
質問 8	4.7	4.7	5.0
質問 9	4.7	4.7	5.0
質問10	4.6	4.6	5.0
質問11	4.6	4.5	5.0
質問12	4.4	4.4	4.5
質問13	4.5	4.5	4.0
質問14	4.4	4.4	4.5
質問15	4.7	4.7	4.0
質問16	4.6	4.6	4.0
質問17	4.5	4.6	4.0
平均	4.6	4.6	4.5

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

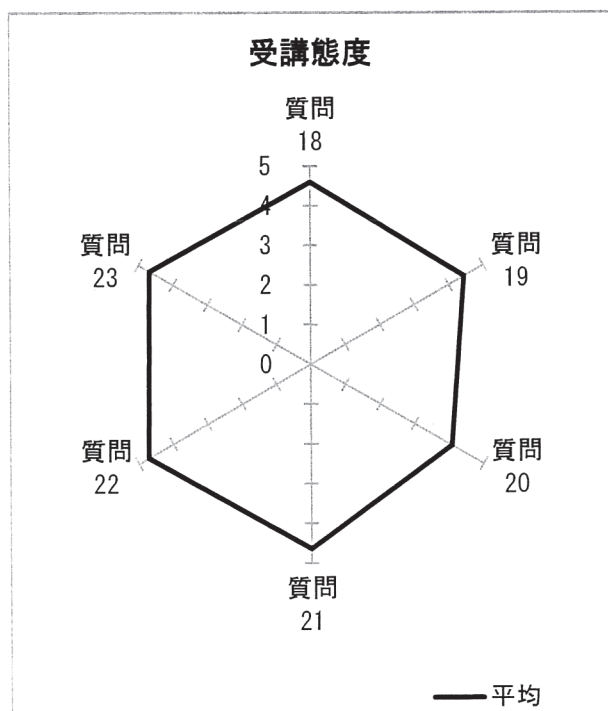
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.4
質問20	4.1
質問21	4.6
質問22	4.7
質問23	4.7
平均	4.5

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	香川実成	大学基礎英語セミナーⅢ	23

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と今後に向けての取り組み

I. 分析と評価

通常、下位Gと上位Gの評価は、ほぼすべての質問項目において相関関係にある（おおよそどの項目でも下位Gの評価の方が低い）と思われるが、今回、質問項目前半の7～11では下位Gの方が高く（すべて5.0）、後半の15～17では上位Gの方が高い（3項目とも、下位Gとの間に0.6ポイント以上の差がある）という興味深い結果になった。

前半項目は、どちらかというところある程度客観的に判断できる項目（シラバス通りか、授業に何分遅れたか、後方の席まで声が聞こえるか、黒板の字が判読できるか、等）で、後半は、受講生の学習意欲を引き出す授業たり得たか、という質問だと言えよう。そう考えると、下位Gの意欲を引き出すことには必ずしも成功しなかったということになり、今後の課題となる。

II. 2017年度後期に向けての取り組み

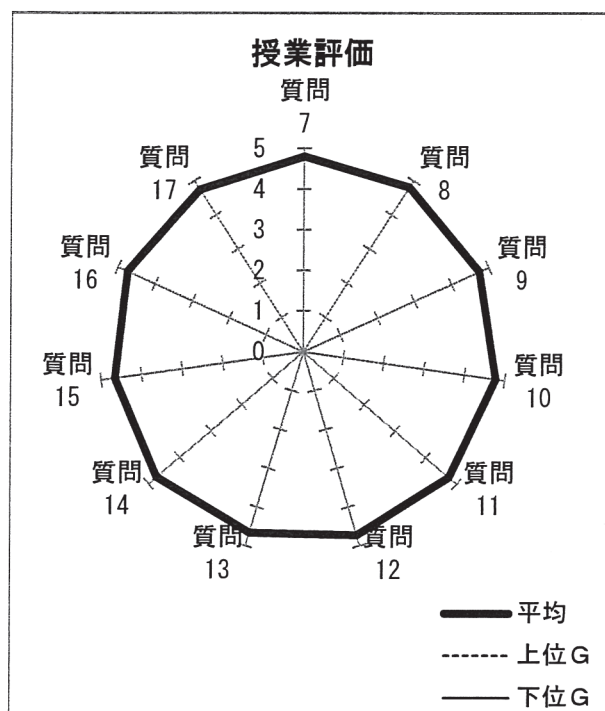
2017年度後期担当予定科目名： 大学基礎英語セミナーⅣ

（同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。）

大学基礎英語セミナーⅢと同じ受講生の科目であり、上記の反省・改善項目にどう対処するか。語学の授業なので、質問15「授業を理解できたか」を5.0に近づけることを、当面の課題として、授業方法や、配付資料を工夫したい。

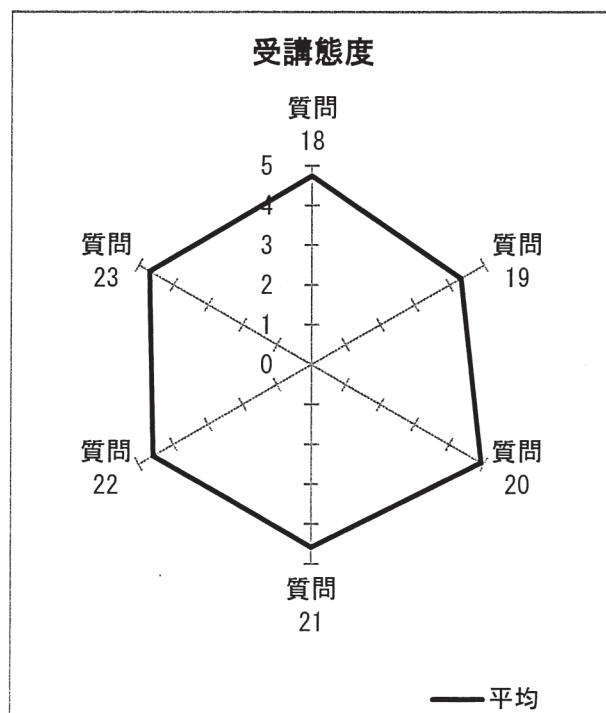
科目コード 120 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 西原 真弓 看護医療英語 (1Aクラス)



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.8	4.8	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.7	4.7	#DIV/0!
質問13	4.7	4.7	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.7	4.7	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.3
質問20	4.9
質問21	4.6
質問22	4.6
質問23	4.7
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
看護学部	看護学科	西原真弓	看護医療英語(1A クラス)	36 名

担当者は文学部 英語学科

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

この授業は看護師になった際に、医療現場で実際に使うことを想定した外国人患者との英会話をマスターすることを目的としている。様々な病名や機器等の名称、また、患者との情報のやり取りの中で、説明の仕方や指示の出し方などを練習する演習系の授業である。さらに、健康や特定の病気に関する短い読み物を読む活動も行った。

このクラスは、嬉しいことに、学生自身の受講態度に関する自己評価が低い学生が一人もいないことである。私への授業評価も比較的、全体的に高いと言える。皆が一生懸命授業に参加し、積極的に英会話の練習をしたり、読み物を理解したりしようとした。学んでいる内容に関しての雑談も一生懸命聞いていた姿が印象的であった。学生の受講態度のよさがこの結果をもたらしたと分析する。

皆が看護師になった時に、日本語がわからなくて困っている患者さんに、すすんで助けの手を差し伸べてくれるようになってほしいと強く願っている。非常にやっていて楽しいクラスであった。

II. 2018 年度に向けての取り組み

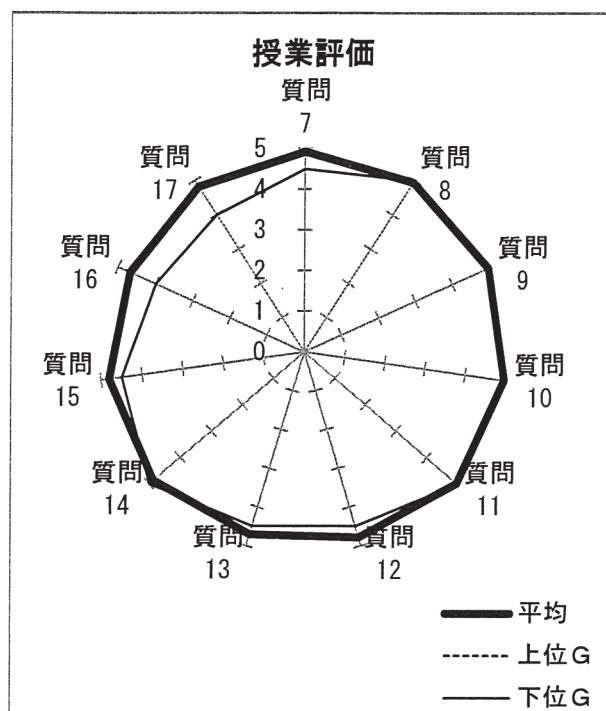
2018 年度担当予定科目名 : English Seminar

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

来年度は、看護医療英語の担当はしないので寂しいが、英語学科の方で専門の授業で、健康に関する読み物を取り入れて、ディスカッションをさせてみたい。

科目コード 121 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 西原 真弓 看護医療英語 (1Bクラス)



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	4.5
質問 8	4.9	4.9	5.0
質問 9	5.0	5.0	5.0
質問10	5.0	5.0	5.0
質問11	5.0	5.0	5.0
質問12	4.8	4.8	4.5
質問13	4.7	4.7	4.5
質問14	4.9	4.9	5.0
質問15	4.8	4.8	4.5
質問16	4.7	4.7	4.0
質問17	4.8	4.9	4.0
平均	4.9	4.9	4.6

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

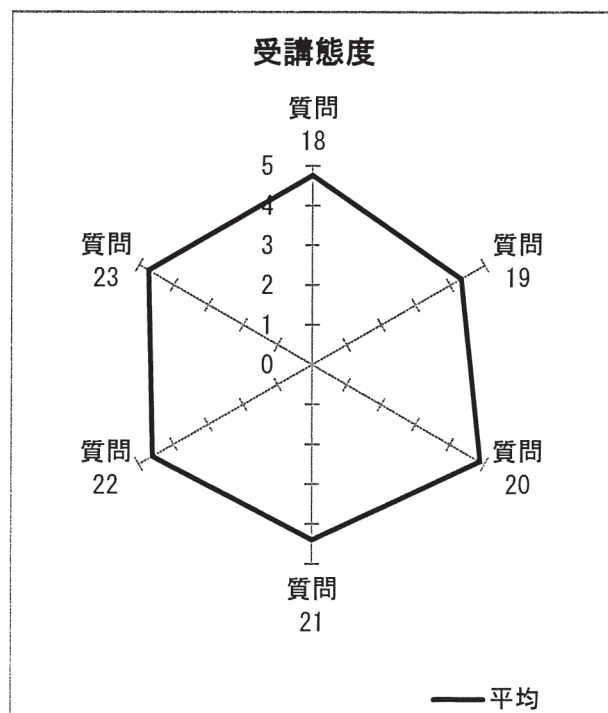
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.3
質問20	4.9
質問21	4.4
質問22	4.6
質問23	4.7
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
看護学部	看護学科	西原真弓	看護医療英語(1B クラス)	38 名

担当者 文学部 英語学科

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

この授業は看護師になった際に、医療現場で実際に使うことを想定した外国人患者との英会話をマスターすることを目的としている。様々な病名や機器等の名称、また、患者との情報のやり取りの中で、説明の仕方や指示の出し方などを練習する演習系の授業である。さらに、健康や特定の病気に関する短い読み物を読む活動も行った。

このクラスは、学生自身の受講態度に関する自己評価が低い学生が一人 2 名いる。そのうち 1 名は、授業に真面目に取り組んだと答えているが、もう 1 人は、あまり真面目に取り組んでおらず、予習、復習をあまりしていないと答えている。この 2 人に対しては、配慮が必要であったと反省している。それ以外の 3 名への授業評価も比較的、全体的に高いと言える。それ以外の 36 名に関しては、大体高評価をしてくれているが、質問 13 の「質問機会の確保と質問への適切な対応」が「どちらともいえない」が 6 名、「どちらかといえばそう思わない」が 2 名おり、質問の機会を十分に与えていなかったことが伺える。この授業は 45 分授業であり、ゆっくり理解度をチェックする時間は確かになかった。反省点である。また、質問 16 の「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」という質問に対しても、どちらともいえないが 8 名おり、英語に対する苦手意識を克服させてやるところまで到達できなかったことがわかる。

これから国際化が進み、日本語がわからない患者さんが病院に来る機会は確実に増える。そのような中で、活水卒の看護師は、進んでその人達に話しかけていくようになってほしいと願っている。

II. 2018 年度に向けての取り組み

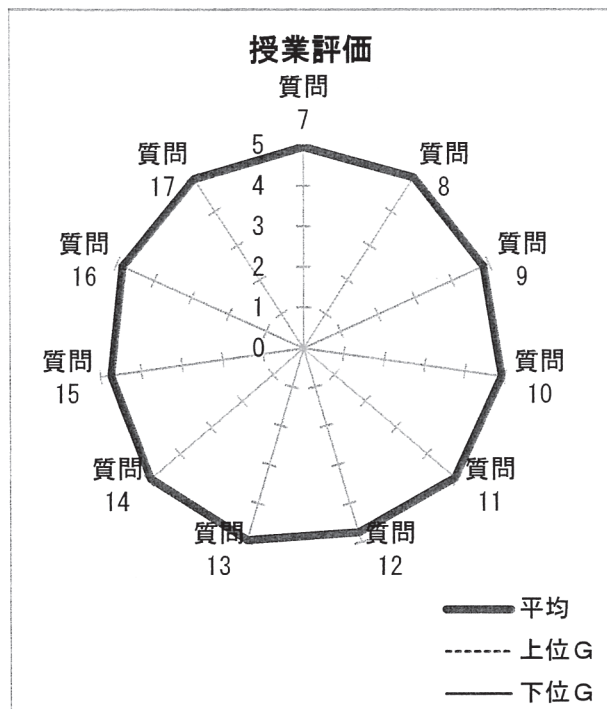
2018 年度担当予定科目名 : English Seminar

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

来年度は、看護医療英語の担当はしないので寂しいが、英語学科の方で専門の授業で、健康に関する読み物を取り入れて、ディスカッションをさせてみたい。

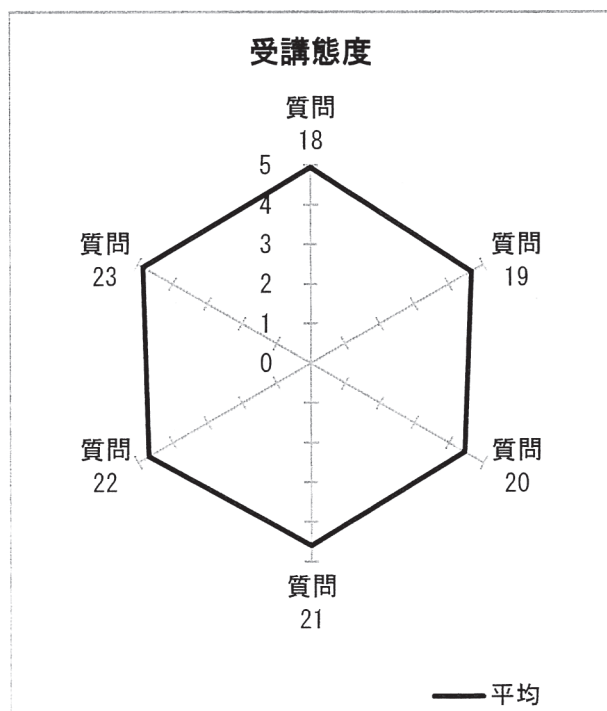
科目コード 127 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 深堀 悦子 Academic Listening I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	4.9	4.9	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.7
質問20	4.5
質問21	4.6
質問22	4.7
質問23	4.9
平均	4.7

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	深堀 悦子	Academic Listening I	20

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

教員の話し方、教材・機器・板書等の効果的な使用、説明のわかり易さ、質問機会の確保と質問への適切な対応、学生の理解度の確認と授業への反映など、すべての項目において、学生は満足できるものだったと評価している。第一回目の授業において、言語ポートフォリオを用いて学生に明確な学習目標を立てさせ、学期をとおして自己の学習状況をモニターするよう指導した。毎回の授業は英語で行われ、学生は英語のニュース番組を視聴し、理解度確認のための設問に答えてゆくという形をとった。

授業外の課題として、リスニング・ジャーナルを書かせ、定期的に提出してもらい、必要に応じてフィードバックを行った。これは学生のリスニング力の向上に役立ったと思われる。学生の受講態度は真面目であり、課題はほぼ締め切りを守って提出された。

II. 2018 年度に向けての取り組み

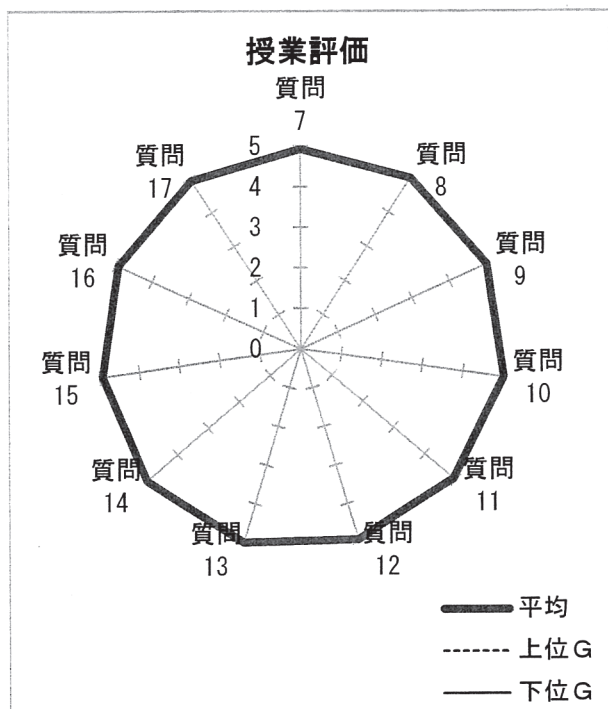
2018 年度担当予定科目名： Academic Listening I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

学生たちは授業にほぼ満足したようであるが、学生が英語リスニング能力をさらに高めることができるよう教科書の選択も含め授業や課題を工夫してゆきたいと思う。英語リスニング能力を向上させる方法の一つとして、リスニング・ジャーナルは有効だと思われるので、来年度も続けてゆきたい。

科目コード 135 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 John Anderson Academic English V



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	5.0	5.0	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.9	4.9	#DIV/0!
質問16	4.9	4.9	#DIV/0!
質問17	4.9	4.9	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

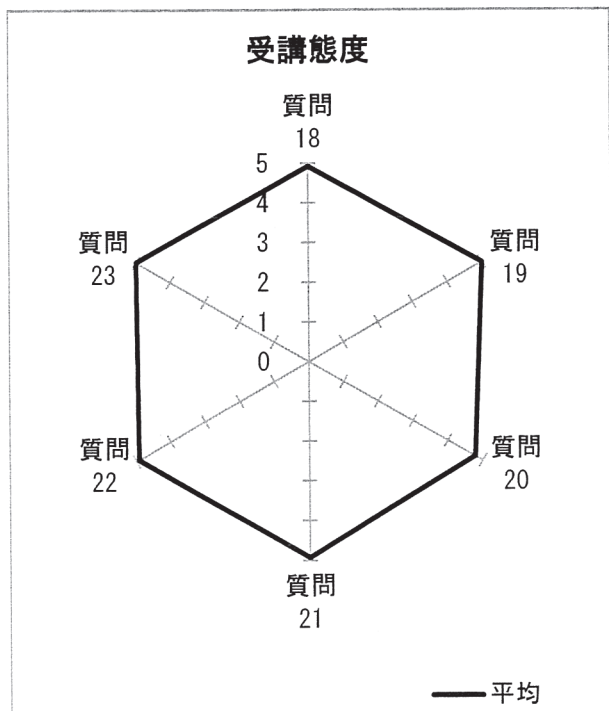
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	5.0
質問20	4.8
質問21	4.9
質問22	4.9
質問23	5.0
平均	4.9

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
Faculty of Humanities	Department of English	John Anderson	Academic English V	14

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This was a class in Academic English for the “Top” English ability group. As indicated by the students’ responses on the evaluation form, they were clearly quite satisfied and pleased with the way this class was conducted. All of their scores in the first set of questions were either 4.9 or 5.0 - the top scores. With their higher English ability levels, all students were able to understand both the content and purpose of class activities, as well as explanations and talk by the teacher, and were exceptionally positive in their approach to learning and practice. It was a delightful class of highly motivated and skilled English learners.

Similar results were seen in the way the students evaluated their own performance and attitude in class – all very positive.

II. 2018 年度に向けての取り組み

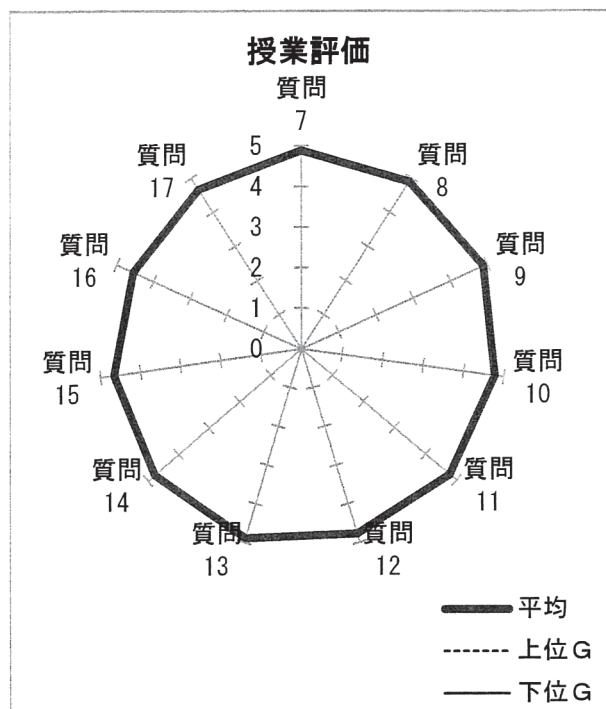
2018 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

The results of this questionnaire indicate that it would be desirable to continue teaching this course in a similar fashion. I think closely monitoring and considering all students’ individual progress on a regular basis, and then taking steps to further motivate and encourage individual students, can lead to even further progress for each student.

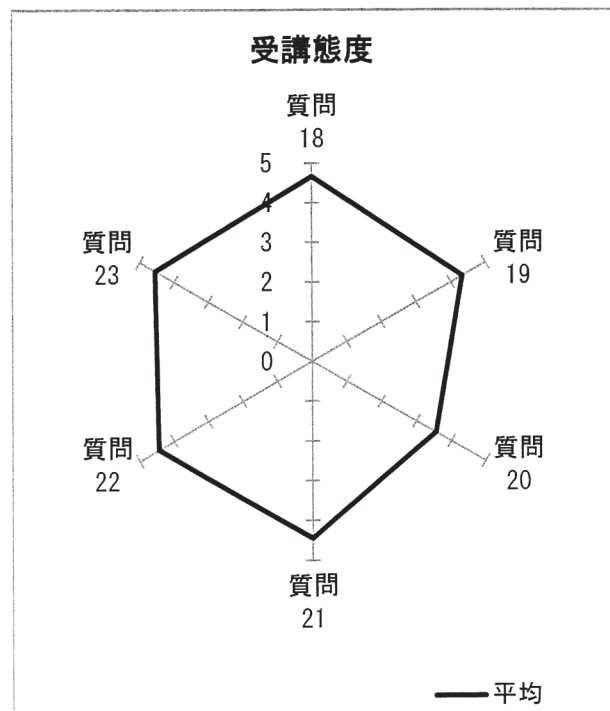
科目コード 136 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 John Anderson Academic English VII



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.8	4.8	#DIV/0!
質問11	4.8	4.8	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.6	4.6	#DIV/0!
質問17	4.7	4.7	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.3
質問20	3.6
質問21	4.4
質問22	4.4
質問23	4.6
平均	4.3

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
Faculty of Humanities	Department of English	John Anderson	Academic English VII	9

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This was a class in Academic English for the “Middle” English ability group. It was a small class of only 9 students, and they were eager to participate and learn every class. The class atmosphere was very positive, and students enjoyed themselves while studying. According to the results of Questions 7 – 17, the students were quite satisfied with how the class was run by the teacher. Things were explained clearly, the teacher would often check for understanding, and they became more interested in studying English.

For their own self-evaluations, the students’ responses were somewhat more varied, especially as seen in Question # 20, indicating the number of times they were absent. I was surprised to see the 4.3 average score for Question # 19 as well, where some students indicated that they did not fully understand the content and purpose of the class (I was under the impression that they were clearly aware of this).

II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : _____

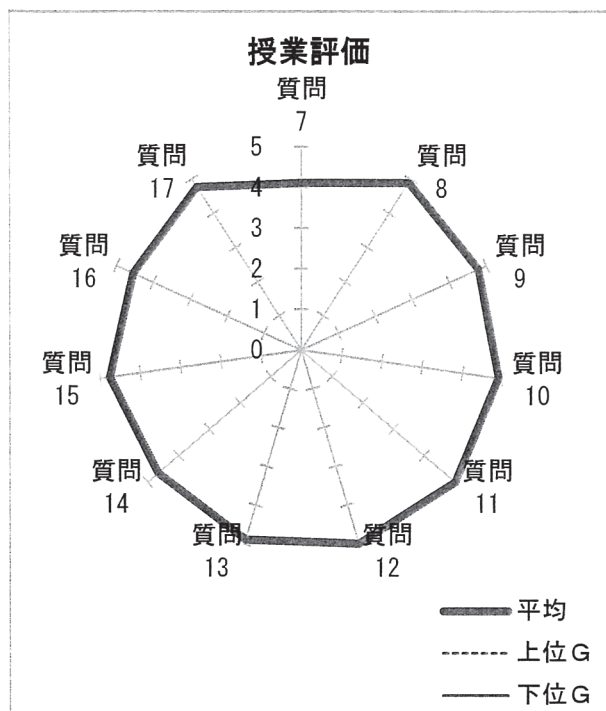
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

Although the content and purpose of the class were clearly explained to students in the first class of the year, as indicated above, some students were not so certain they understood this. I will make efforts to see that all students DO understand these points next year, since it is central to the learning process. Rather than the teacher’s explanation only, however, I would have students themselves then explain the content and purpose as well, ensuring that all understood.

I would also encourage students to attend all classes. In their 4th year, however, students are also job-hunting, and have work-related interviews and seminars periodically, which must be taken into consideration. I do put the class content and procedure on Moodle every week, though, so students can go to Moodle, see what they have missed, and catch up on the work in their free time.

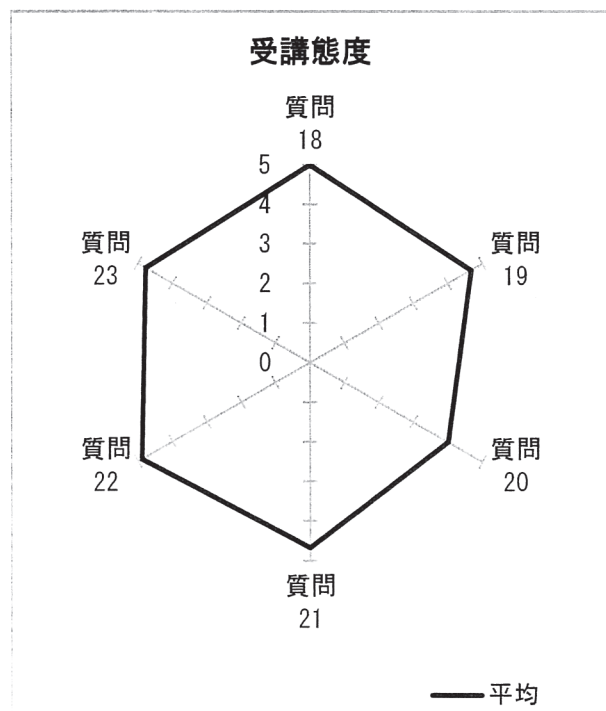
科目コード 140 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Richard Bent Academic English VII



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.1	4.1	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.8	4.8	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.7	4.7	#DIV/0!
質問15	4.8	4.8	#DIV/0!
質問16	4.6	4.6	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	5.0
質問19	4.7
質問20	4.0
質問21	4.7
質問22	4.9
質問23	4.8
平均	4.7

質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Academic English VII	9

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This course is the culmination of four years studying the same textbook series, Pathways Listening, speaking, and Critical Thinking, and as such, the students are very familiar with how the text is structured and what kind of activities will be expected of them. The feedback to the course was generally very positive, partially due to this, and also due to my class being the highest group. As such, the students responded well and with enthusiasm.

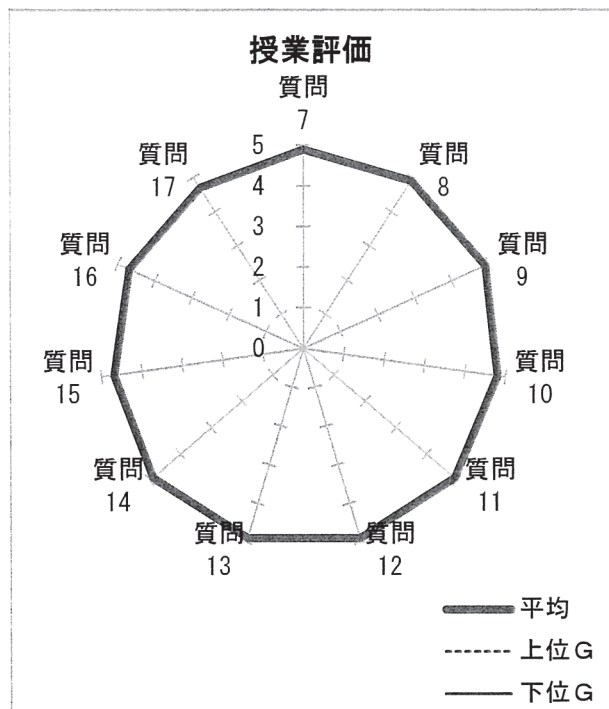
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名：_____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

科目コード 141 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Richard Bent Academic English III



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.8	4.8	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.7	4.7	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

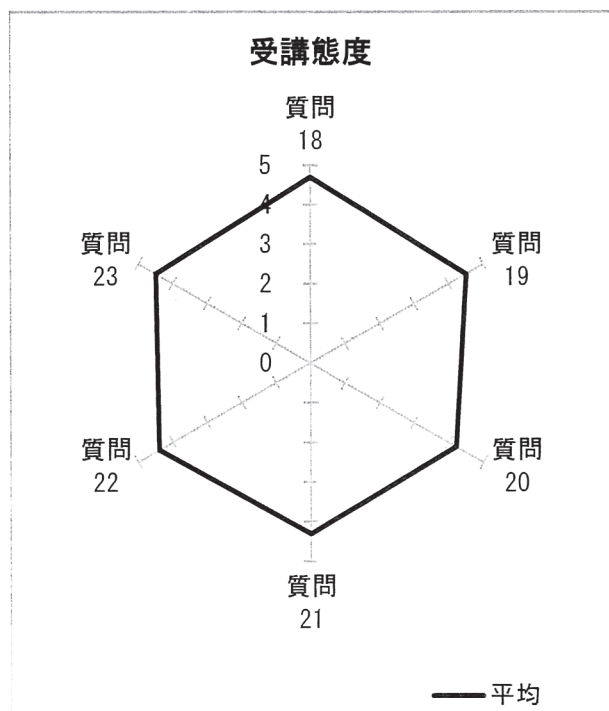
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.5
質問20	4.2
質問21	4.3
質問22	4.4
質問23	4.5
平均	4.4

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Academic English III	10

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class is a continuation of the first year Academic English I and II, using the same textbook series, Pathways Listening, speaking, and Critical Thinking. As such, the students in the course are familiar with the types of exercises the book will ask them to do, in particular communicative English and presentation skills. I was very happy with the very positive feedback the class received, particularly as the students tried hard and occasionally found aspects of the course difficult.

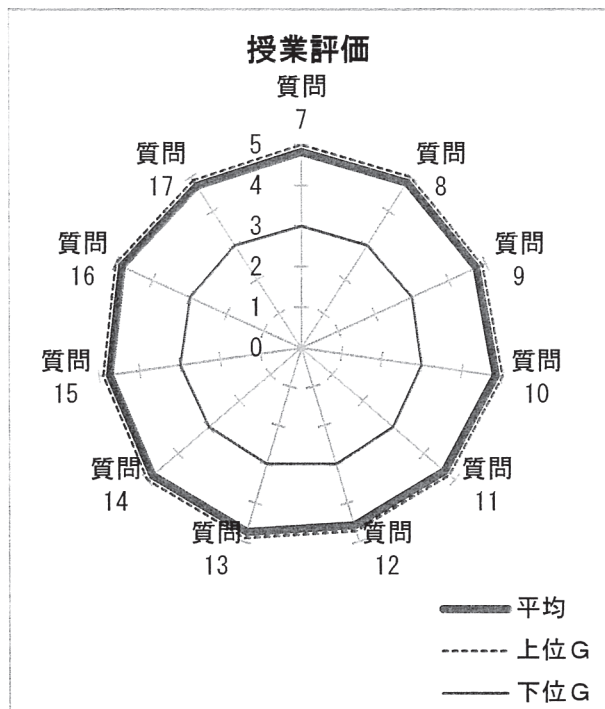
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

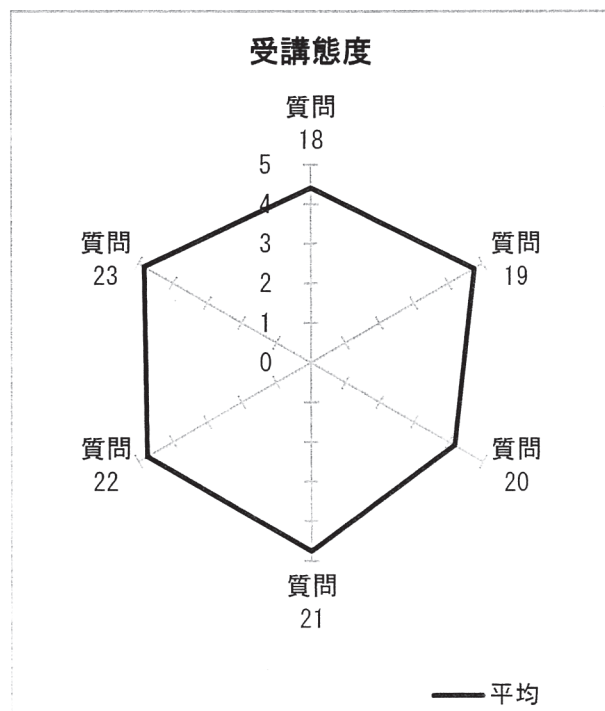
科目コード 142 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Richard Bent Business Writing



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.8	5.0	3.0
質問 8	4.8	5.0	3.0
質問 9	4.8	4.9	3.0
質問10	4.8	5.0	3.0
質問11	4.7	4.8	3.0
質問12	4.6	4.7	3.0
質問13	4.8	4.9	3.0
質問14	4.8	5.0	3.0
質問15	4.8	4.9	3.0
質問16	4.8	5.0	3.0
質問17	4.8	4.9	3.0
平均	4.8	4.9	3.0

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.4
質問19	4.8
質問20	4.2
質問21	4.8
質問22	4.8
質問23	4.8
平均	4.6

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	英語学科	リチャード・ベント	Business Writing	11

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果： 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

For this class, students were to learn and practice various forms of writing associated with English business, such as letters, invitations, notes, complaints, negotiations and reports. Overall, the feedback was positive and hopefully this translates into the students felt they learned these skills sufficiently. For this year, I used a different textbook from previous classes, however, in retrospect, I feel that perhaps the older book was more appropriate as this text puts a lot of emphasis on writing business reports. While this is a valuable skill, the previous text covers more types of business writing which would be more of the kind students would be likely to come across in a real business environment.

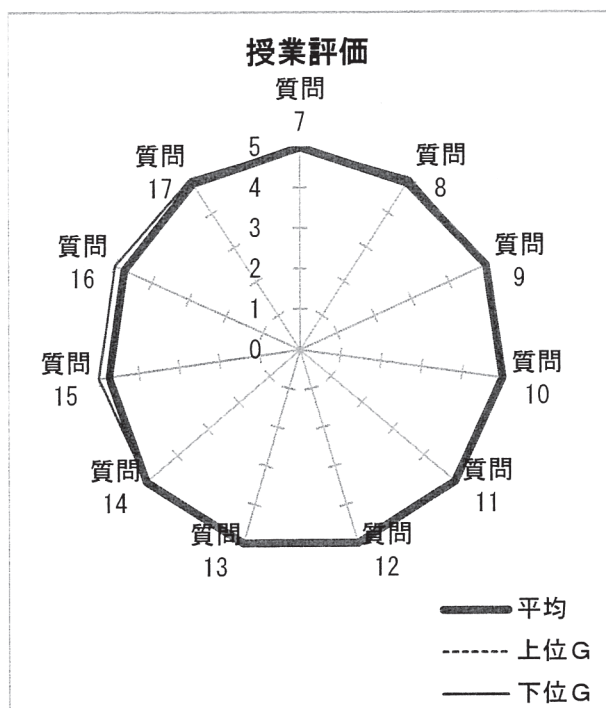
II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名： _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

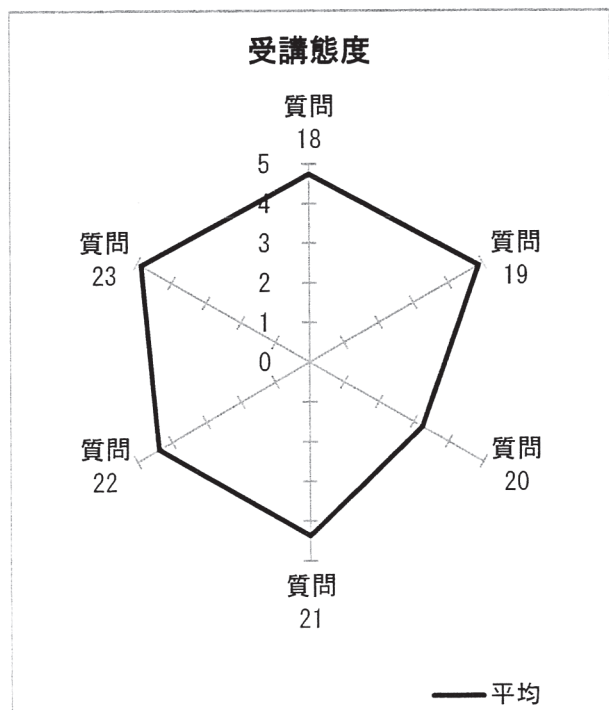
科目コード 145 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Andrew Gorringe Academic English VII



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	5.0
質問 8	4.9	4.9	5.0
質問 9	5.0	5.0	5.0
質問10	5.0	5.0	5.0
質問11	5.0	5.0	5.0
質問12	5.0	5.0	5.0
質問13	5.0	5.0	5.0
質問14	5.0	5.0	5.0
質問15	4.8	4.7	5.0
質問16	4.8	4.7	5.0
質問17	4.9	4.9	5.0
平均	4.9	4.9	5.0

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.9
質問20	3.3
質問21	4.4
質問22	4.4
質問23	4.9
平均	4.4

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
Faculty of Humanities	Department of English	Andrew Gorringe	Academic English VII	8

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class had 10 students, and all the students except for two of them were present when the evaluation took place. The class was held once a week on Tuesday afternoons (periods V - VI). The textbook that we used was Pathways 4: listening, speaking and critical thinking (Heinle Cengage Learning)

From the feedback for this class, it seems that the students found the class useful. The students tried hard and made efforts to understand and use the English in the textbook, which for most of them was quite challenging. I was also pleased that despite having to look for jobs, the students still managed to do their homework and participate in the class as much as possible.

II. 2018 年度に向けての取り組み

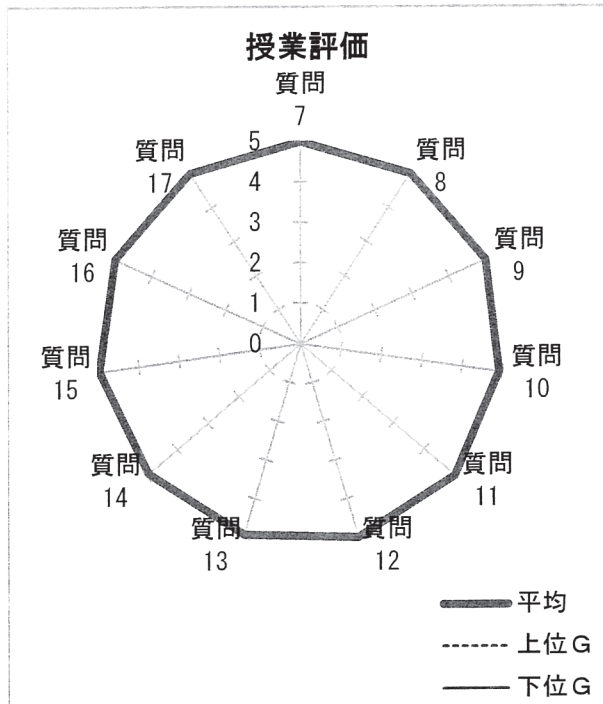
2018 年度担当予定科目名 : Andrew Gorringe

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

I will be teaching this class again next year and will teach it in a similar way to this year. We will again use the same textbook and approach the class in the same manner. I hope that next year's students will try as hard as this years.

科目コード 151 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Sergio Mazzarelli Academic Listening III



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	5.0	5.0	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	5.0	5.0	#DIV/0!
質問16	5.0	5.0	#DIV/0!
質問17	5.0	5.0	#DIV/0!
平均	5.0	5.0	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施

質問 8 : 教員の授業時間遵守

質問 9 : 教員の話し方

質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用

質問11 : 教員の説明のわかり易さ

質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)

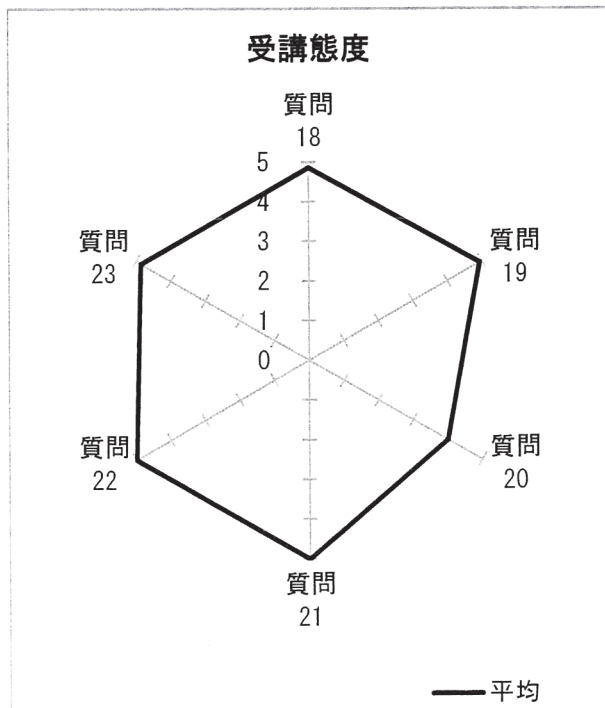
質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応

質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映

質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか

質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか

質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.9
質問19	4.9
質問20	4.0
質問21	5.0
質問22	5.0
質問23	4.9
平均	4.8

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか

質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか

質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)

質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか

質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか

質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文 学 部	英 語 学 科	Sergio Mazzealli	Academic Listening III	14

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

All students in this course made efforts to improve their listening, note-taking, and presentation skills. They listened to textbook materials in class and to recordings of their choice outside class. By keeping listening journals in which they described their out-of-class listening experiences, they monitored their learning and developed independent listening habits. The course also benefited from the use of an adapted version of the European Language Portfolio, which allowed students to set clear goals for their activities and reflect on their progress.

II. 2018 年度に向けての取り組み

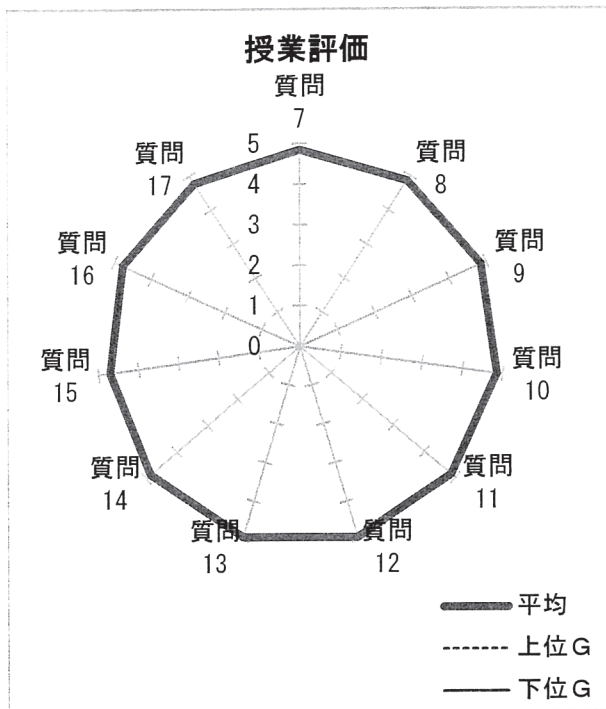
2018 年度担当予定科目名 : Academic Listening III

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

Since I was satisfied with my students' progress, I intend to teach the course in the same way next year.

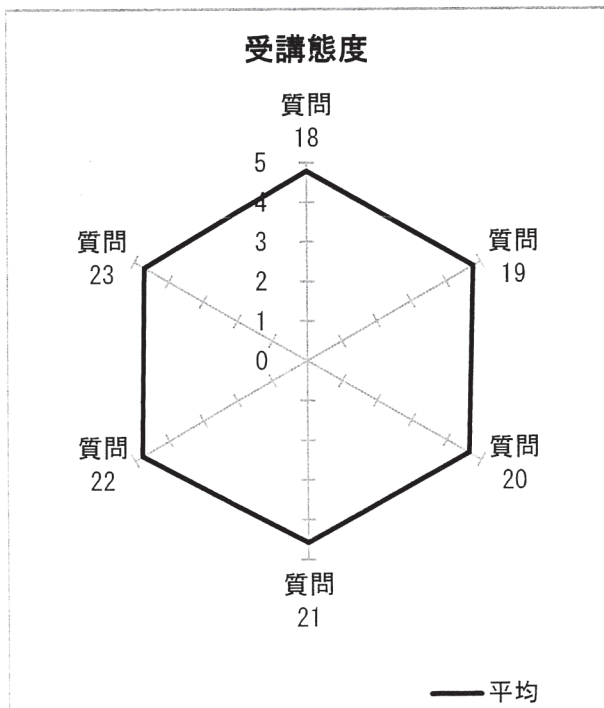
科目コード 153 (2017年度 前期)

文学部 英語学科 Sergio Mazzarelli Academic English I



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 8	4.9	4.9	#DIV/0!
質問 9	4.9	4.9	#DIV/0!
質問10	4.9	4.9	#DIV/0!
質問11	4.9	4.9	#DIV/0!
質問12	4.9	4.9	#DIV/0!
質問13	4.9	4.9	#DIV/0!
質問14	4.9	4.9	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.8	4.8	#DIV/0!
質問17	4.8	4.8	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.8
質問19	4.8
質問20	4.6
質問21	4.6
質問22	4.8
質問23	4.7
平均	4.7

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文 学 部	英 語 学 科	Sergio Mazzarelli	Academic English I	18

2017 年度前期授業評価アンケート集計結果 : 教員による分析・評価と 2018 年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

This class benefited from the use of an adapted version of the European Language Portfolio. All students managed to make good progress by setting clear goals for their activities and monitoring their learning. At the beginning of the term, each student had a one-on-one goal-setting interview with me and was encouraged to visit my office again if she had any problems or questions. In-class listening and conversation activities were supplemented by online exercises available on the textbook publisher's website. The students also prepared and delivered presentations. Teacher feedback on the presentations was provided via Moodle.

II. 2018 年度に向けての取り組み

2018 年度担当予定科目名 : Academic English I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

Because all students made good progress, next year I plan to continue using the same textbook in conjunction with the Portfolio. I will try to further encourage students to ask questions either in class or in my office.